

NEWS RELEASE (2024 年 12 月 6 日) 取材依頼

論理的思考が得意な人の方が「斎藤氏は被害者だ」と信じていた？

兵庫県知事選における態度に関する全国と兵庫でのオンライン調査結果

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。下記の兵庫県知事選をめぐる人々の態度に関する調査について、研究成果の発表をご案内いたしますので、取材方お願いいたします。

【研究概要】

法文学部人文学科心理学コースの大藺博記准教授らの研究グループは、兵庫県知事選後の 11 月 21 日と 22 日に、全国(兵庫以外)と兵庫で、オンラインのアンケート調査(分析対象: 全国 339 名、兵庫 384 名)を行いました。

その結果、特に兵庫県民においては、論理的思考(科学的推論テストと認知的熟慮性テストで測定)が得意な人の方が、“斎藤氏は被害者だ”と考えている傾向が、弱いながらも認められました。これは、「リテラシーの低い人が、SNS に踊らされて、斎藤氏を支持した」という一部の言説とは逆の傾向になっており、極めて興味深いと考えています。また、本調査では、各メディア情報への信頼についても尋ねており、「全国では、論理的思考が得意な人の方が SNS 情報を信頼しない」、「兵庫では、論理的思考が得意な人の方が大手マスコミの情報を信頼しない」という、全国と兵庫で異なる傾向も得られています。

調査結果は、速報性を重視し、また、一般向けへの伝達が重要と考え、note にて公開されていますので、ご参照ください。

【研究内容情報】

note 記事タイトル: 兵庫県知事選で「斎藤氏は被害者だ」と信じたのは誰か: 論理的思考能力との関連

著者: 大藺博記(鹿児島大学法文学部)

URL: https://note.com/firm_crocus3834/n/n6a8d76bd08df

【問い合わせ先】

■研究に関すること

国立大学法人 鹿児島大学

法文学部人文学科心理学コース

准教授 大藺 博記(おおぞの ひろき)

TEL: 099-285-7538

E-mail: ozono@leh.kagoshima-u.ac.jp